



循環型社会の形成

限りある資源を有効に活用し、環境負荷を低減させるため、より付加価値の高い再生材の利用方法に着目し、建設副産物をはじめとする廃棄物の3R〔Reduce（発生抑制）・Reuse（再使用）・Recycle（再生利用）〕に取り組んでいます。また、グリーン購入法に沿った調達方針を定め、環境負荷の少ない資材の調達を推進し、調達可能な事務用品については、グリーン調達率100%を目指しています。

廃棄物の削減、資源の循環的利用の促進（3Rの推進）

マテリアルフロー図 阪神高速道路（株）単体 2022年度



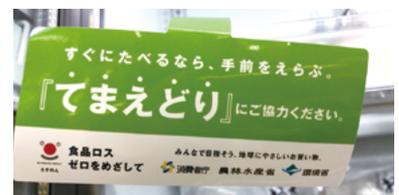
当社事業で使用するエネルギー物資の入手から、リサイクル・処分までの流れを示しています。

パーキングエリアにおける廃棄物の削減

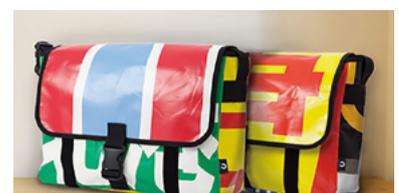
賞味期限間近の商品の割引販売や「てまえどりPOP」の陳列棚への設置などにより、お客さまとともにフードロス削減に取り組んでいます。また、レストランなどから出る廃食用油については、すべてリサイクル処理を実施しています。

横断幕再生プロジェクト

横断幕再生プロジェクト【Re:loop 阪神高速】では、雨風に強い素材の特性を生かし、バッグなどに再利用しています。また、地球環境保全のため有効活用いただける企業・団体に無償で提供し、有効活用していただく取り組みも進めています。



てまえどりPOP



横断幕再生バッグ